



津屋崎

令和5年10月3日(火)
福津市立津屋崎小学校
校長 木庭竜之助

楽しいからこそ学べる

あこがれの存在としての6年生

9月26日、27日に6年生は修学旅行で長崎に行ってきました。修学旅行は、小学校生活の中でも、特に大きな思い出となる行事です。この修学旅行に向けて、6年生の児童は、一人一人が目標をもち、準備を進めてきました。そんな6年生が掲げたのが「じだいをつくる」という共通テーマでした。これは「じ：自分たちで考えて行動する」「だ：団結」「い：命について考える」「を：おもいでをつくる」の頭文字を集めた言葉です。

長崎の地に出かけ、直接見聞きするからこそできる、歴史、文化、そして命についての学びを、このテーマの言葉通り、一人一人がそれぞれに学んでいました。また、見聞きして学ぶだけでなく、6年生全体で、あるいは班で行動を共にすることを通して、その時々状況に応じて、臨機応変に考え、行動する姿を見ることができました。自分たちで行動することができるようにみんなの前に立って働きかける人、体調を崩した人を気遣い支える人、人知れず身の回りのゴミを拾っている人。一人一人の子どもの姿に、その子なりの目標に向けて努力している姿を見ることができました。このような姿を、下級生が見て、「あんな6年生になりたい」とあこがれ、目標としていくのです。あこがれることで成長する下級生と、あこがれることで自信を持ち、さらに成長する6年生。そんなともに高め合う関係をこれからもいろんなところでつくっていただけることを期待しています。

また、今回、子どもたちがつくったテーマには、こんなサブテーマがっていました。

「楽しいからこそ学べる！心に残る最高の思い出を」

とても素敵な、そして深い意味をもつ言葉だと感心しました。ついつい、「楽しさ」と「学び」は対立するもののようにとらえてしまいがちになります。本来、学ぶことは楽しいことです。修学旅行に限らず、知る喜び、できるようになる喜びを味わうとともに、学びに没頭する充実感や、学びの中で人とつながる楽しさを味わうことができるようにしたいものです。この子どもたちの言葉をきっかけに、学校全体であらためて「学ぶこと」について一緒に考えたいと思います。



9月30日(土)に篠栗町のホールで、「福岡地区子どもの読書活動研修会」が開催されました。この研修会では、「読みたい気持ちが人生を豊かにする」をテーマに、作家の岡崎拓磨さんとともに読書にまつわるパネルディスカッションが行われました。

このパネルディスカッションに本校6年生の櫻井好花さん、三橋空さんがパネラーとして登壇し、中学生、高校生、そして岡崎さんとともに、パネルディスカッションを行いました。櫻井さんも三橋さんも、ステージ上で、堂々と読書についての自分の経験や考えを率直に語り、たくさんの聴衆から大きな拍手を受けていました。

「どうすれば子どもが本をもっと読むようになると思いますか」といった趣旨の大人からの問いかけに、2人はこんなことを話してくれました。

「自分はゲームもするし、本も読む。ゲームも楽しいし、本も楽しい。それぞれに違った楽しさがあるから、それぞれの楽しさを味わえたらいいと思う。」大人が考えるときには、読書は役に立つのだから、ゲームではなく読書をしてほしいと考えてしまいがちです。しかし、彼らは当たり前のように、本とゲームの選択ではなく、どちらも自分の楽しさのもとと答えてくれました。

このパネルディスカッションの中でも、「読書は楽しいからする」という言葉が、他の登壇者から聞かれました。役に立つから読むという読み方もありますが、「楽しいから読む」が、日常のことになるといいですね。それが、テーマでもある「人生を豊かにする」ことにつながるのでしょうか。

でも、読書の楽しさは、読書をしてみないとわからないのも事実です。読書に限らず、やってみることはじめてみることから、楽しさは生まれてくるのですね。

そんな楽しさが生まれてくるように、様々な経験ができる環境、例えば読書ならば、本が身の回りにあるだけでも違うものです。そんな環境を大人が、そっと整えて待つのも大事なことなのだと感じました。



10月の主な行事

3日(火)	生活科校外学習(1年) 性暴力対策アドバイザー講座(6年)	13日(金)	2年生まちたんけん クラブ活動
5日(木)	委員会活動	17日(火)	全学年5時間授業 15:00 下校
6日(金)	観劇会	20日(金)	代表委員会 特支校外見学(いのちのたび博物館)
9日(月)	スポーツの日	23日(月)	社会科見学(5年生)
10日(火)	宗像地区全員研修会のため給食後13:15 下校(3の1, 4の4は公開授業後下校)	31日(火)	通級教室5, 6年グループ学習 お話し会(4年)